

社会資本総合整備計画 事後評価シート

じんだいじちく りょうこう まち けいせい
深大寺地区における良好な街なみの形成

ちょうふ
調布市

平成28年5月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成28年 5月 16日

計画の名称	1 深大寺地区における良好な街なみの形成		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	調布市
計画の目標	深大寺地区は水と緑が豊かな自然環境に囲まれ、奈良時代に始まり、浅草寺に次ぐ古い歴史を持つとされる深大寺や中世の上杉朝興の山城である深大寺城跡（国指定史跡）といった歴史ある資源が数多く存在しており、調布市内における観光拠点となっている。また、深大寺周辺や神代植物公園、国分寺崖線周辺には豊かな自然環境や農地が残されており、自然環境と一体となった市街地が形成されている。このような中、地元まちづくり活動と連携を図りながら、深大寺地区の良好な自然環境等の保全と賑わいを創出するまちづくりを進め、良好な街なみを形成していく。		

計画の成果目標（定量的指標）	・調布市北部地域において「良好な街なみ」と感じる市民の割合		
----------------	-------------------------------	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
① 深大寺地区を含む調布市北部地域において、良好な街なみであると感じている市民の割合を計測する。 (調布市民意識調査結果より引用)	73.5%	77.0%	80.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	48.0百万円	A	48.0百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
事業担当課において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証・分析するとともに、客観的視点を反映させるため、評価結果を「深大寺通り街づくり協議会協定運営委員会」に報告し、第二期計画における事業の実施に向けた意見を求めている。	平成28年度
	公表の方法 市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	住宅	一般	調布市	直接	調布市			深大寺地区街なみ環境整備事業	事業計画の策定、街なみ環境の整備、約38ha	調布市						48.0	
小計（道路事業）																	
合計											48.0						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況**

・深大寺地区における街なみ景観の維持及び向上を目的とした実施計画である「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」の策定に向けて行ったワークショップ等の街づくり協議会活動を通じ、元来から地区に存する豊富な自然環境と調和した街なみの良さについて共通認識を持つことができた。また、平成25年度から開始した街づくり協議会での定期清掃活動によって住民の美観意識が高まった。
 ・自然環境の保全と良好な街なみ景観の維持、向上を目的とする「深大寺通り周辺地区街づくり協定」の締結により、深大寺らしい和の趣きのある風景を守り、育てる意識の醸成に繋がった。また、「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」において遊歩道・散策路や案内板サイン等の整備計画が策定され、武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくりに向けた地区全体の期待が高まっている。

II 定量的指標の達成状況	指標①（良好な街なみと 感じる市民の割合）	最終目標値	80.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	「深大寺通り街づくり協議会」の活動によって地元住民等の街づくりへ取り組む意識の醸成に繋がったことや、平成24年7月に地元で締結した「深大寺通り周辺地区街づくり協定」及び同年11月に市が策定した「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」により、国分寺崖線を始めとする地区の自然環境との調和と良好な街なみ景観の維持・向上のためのルールや計画が策定されたことが、数値の上昇した要因であると考えられる。ただし、協定に基づいた整備事例や市の整備事業の事例が少ないため、目標値の達成までには及ばなかったものと推察する。
		最終実績値	75.90%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

**III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)**

・市道北137-1号線の散策路整備によって道路としての安全性が向上し、既存の回遊ルートの再生に繋げることができた。
 ・案内板サインの整備により、調布駅からの徒歩の来街者がスムーズに地区内へアクセスできるようになった。
 ・地元住民で組織された「深大寺通り街づくり協議会」では、緑豊かな自然環境と、歴史的風情のある街なみの保全に向けた活動を行っており、市では同協議会へ活動助成を行い、支援を続けている。この団体を中心に平成24年に締結した、地区内の街なみを保全するためのルールである「深大寺通り周辺地区街づくり協定」により、深大寺地区の趣のある雰囲気と自然環境に調和した、落ち着いた形態及び意匠を誘導した。

3. 特記事項（今後の方針等）

①第二期から具体的な整備事業を実施していくにあたり、第二期の計画の定量的指標について、遊歩道・散策路、道路等の整備状況を数値化するため、「来街者をもてなし、楽しく歩いて巡れる歩行者空間の整備」を追加し、遊歩道・散策路整備等の計画延長に対する完了延長の割合を算出することとした。
 ②今後、各種整備を行うにあたり、地元の街づくり協議会等と十分な協議・調整を行いながら下記の点を踏まえて実施する。
 ・遊歩道・散策路整備については、門前の雰囲気と国分寺崖線を始めとする周辺の自然環境を調和させるため、一定の統一感を持たせながらもエリア毎に特色を持たせた設えとする。
 ・道路の美装化・改良については、和風の趣を持たせながらも、ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが安心安全に歩行できる空間として整備する。
 ・案内板サインについては、地区内の自然景観や歴史的・文化的な趣を感じさせる街なみ景観に調和した誰にでも分かりやすいサインを統一的に整備する。
 ③深大寺通り街づくり協議会協定運営委員会より、「深大寺通り周辺地区街づくり協定によって、法的強制力がなくとも、深大寺の趣のある雰囲気に調和した形態及び意匠に誘導できたため、景観の維持・向上に効果が出ている」との評価をいただいた。

計画の名称 1 深大寺地区における良好な街なみの形成

計画の期間 平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)

交付対象 調布市

深大寺地区街なみ環境整備事業 事業箇所図

